

## 「今を生きる」 (校長便り R3年度 NO.2)

### 校長式辞 (入学式)

本日この佳き日に、銀嶺会会長松本忍様、PTA会長羽淵慎也様をはじめ、ご来賓・保護者の皆様にご臨席を賜わり、兵庫県立生野高等学校第76回入学式がこのように盛大かつ厳粛に挙行できますこと心から感謝申し上げます。ただいま入学を許可いたしました48名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校の教職員、在校生をあげて皆さんの入学を心より歓迎いたします。

本校は大正2年の創立以来今年度で109年目を迎える伝統校であり、数多くの卒業生が国内外、各方面で活躍されています。本校では3年前に学科改編を行ない、普通科に「観光・グローバル類型」と「地域探究類型」の2類型を設置しました。両類型とも普通科進学校、伝統校としての学びを継承しつつ、それに加えて次世代を生きる生徒たちに必要な課題発見解決能力やグローバル社会に適応できる人材を育成することを目指しています。また、本校では2年前から文部科学省による「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」推進校の指定を受けています。本事業では地元地域を中心に構成された「コンソーシアム IKUNO」と呼ばれる組織を核として、「ゆめいくプロジェクト」と名付けた探究学習に精力的に取り組んでいます。今後は地元地域との連携をさらに深め、地域課題の解決に協働的に取り組んでまいります。このように本校は脈々と受け継がれる素晴らしい伝統を大切にしながらもそこに安座することなく、新しい時代をしなやかに生き抜く人材を育成するために常に進化を遂げています。

本校に入学するにあたり、新入生の皆さんに一つお話をします。少し古い話になりますが、アメリカ合衆国第35代大統領であるケネディ大統領は就任の挨拶で次のような言葉を残しています。「国があなたに何をするかを問うのではなく、あなたが国に何ができるかを自問してください。」これを学校に置き換えると「学校が皆さんに何をしてくれるのかではなく、皆さんが学校で何ができるのか」をしっかりと考えてほしいということです。『ゆめを育む生野高校』本校のキャッチフレーズです。3年間の学校内外での様々な学びを通して、夢を見つけ夢を育むのは他の誰でもない皆さん自身です。そして、自らの力で夢を実現してほしいと願っています。

保護者の皆様、お子様の本校入学を心からお祝い申し上げます。本日から大切なお子様をお預かりいたします。生野高校は、生徒にとって「来てよかった」、保護者の皆様にとって「行かせてよかった」、そして、地域にとって「在ってよかった」、そのような学校づくりを目指します。そのために、教職員一同全力を尽くしてお子様の教育に取り組んでまいり所存です。しかしながら、このことは保護者の皆様のご理解とご協力なくして成就するものではありません。どうか本校の教育活動にご理解を賜り、学校・家庭・地域が一体となってお子様の成長を応援していただけますようご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新入生の皆さん、昨年来のコロナ禍によって、これまで不自由で辛い日々を過ごしてきたと思います。しかし、できなかったことを嘆き悲しむのではなく、自分自身成長できたことやコロナ禍だからこそ得られたことにぜひ目を向けてください。そして、これから始まる生野高校での生活で感謝の気持ちを忘れず、その時々を懸命に生きてほしいと願っています。皆さんにとって、生野高校での生活が貴重な青春の3年間、そして成長の場となることを祈念して挨拶いたします。

令和3年4月8日

兵庫県立生野高等学校長 福田 孝善